



本校の授業改善に向けた視点

各教科・領域における言語活動の充実	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習活動・学習過程・学習形態等の工夫</li> <li>○指導体制の工夫</li> <li>○学力向上支援講師とのTTや少人数指導</li> <li>○交換授業の実施</li> <li>○年間指導計画等の改善</li> <li>○学習スタンダード等の活用</li> <li>○板書計画、ノート指導等の充実 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行事を精選し、ゆとりをもって授業時数を確保</li> <li>○漢字・計算・読書等の基礎的・基本的な学習のための朝学習の時間を確保</li> <li>○夏季休業中に、学力補充教室を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究主題「共に学び、共に伸びる子の育成」のもと、都言語能力向上拠点校として研究発表会を開催し、教師の指導力を高める。</li> <li>○教員の能力・特性を生かした、指導力向上のための研修会を実施</li> <li>・特別支援教育</li> <li>・アニメーション 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価規準・評価計画のもと、PDCA [実践・評価・行動・修正] のサイクルによる改善を図る。</li> <li>○形成的評価を随時行うことで指導と評価の一体化をめざす。</li> <li>○評価補助簿等を活用し、個別指導の充実を図る。 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合」をはじめ各教科の学習で地域人材を積極的に活用する。</li> <li>○学校評議員による評価を生かした開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>○基本的な生活習慣や学習習慣を育む家庭の教育力の向上を図る。</li> <li>○様々な広報活動を通じて、学校の教育情報を積極的に発信する。</li> <li>○地域主催行事に教職員が積極的に参加することによって、相互の信頼関係を構築する。 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関中学校との定期的な連絡会を開催し、情報の共有化を図る。</li> <li>○これまで連携してきた活動を生かして、一層の充実を図る。</li> <li>○児童生徒間だけでなく、教員間の交流を促進していく。</li> <li>○先進校の研究に学び、企画立案する。 等</li> </ul>

授業改善策の検証方法

- 各種の学力調査の結果を入念に分析し、前年度との経年比較を行いながら、指導方法の成果と課題を明らかにしていく。
- 各教科の基礎的・基本的な内容の習得状況については、各種の学力調査の結果と授業改善策との関連を踏まえて分析し、今後の授業改善の視点を明確にしていく。
- 校内研究の活動の一環として、児童の学習意欲に関する意識調査を行い、その分析を進め、学習意欲の高揚策を講じていく。
- 保護者等による「学校の教育活動に対するアンケート」をもとに外部評価の状況を分析し、そのニーズに応じていく。 等々